

令和4年度 学校関係者評価書

学校園名 附属世田谷小学校

1 学校関係者による評価

領 域	学校関係者による評価と今後の課題
学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもが安心して集える学校を目指し、重点課題とした。</li> <li>・ 教員は、互いに尊重し合い、協働的に仕事に取り組むよう努め、児童及び保護者だけでなく、社会全体から信頼され尊敬される教職員を目指した。</li> <li>・ 保護者や地域と連携した危機管理体制をさらに充実させていきたい。</li> <li>・ Home、Class、Laboratoryの3つの活動領域での教育課程で、一年が経過した。3つの活動領域が互恵的かつ有益に機能していることについて、考察しより一層の教育課程の充実に努めていきたい。</li> </ul> <p>また、そのことを、保護者にも積極的に発信していきたい。</p>
教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育活動は、感染症対策をしながら、行事を実施していく方針で行った。Home、Class、laboratoryの3つの活動領域での教育課程になり、Homeを活動主体にした宿泊活動、スポーツフェスティバルなど、新たな形での行事の取り組みがなされた。初年度ということで、これまでと大きく変わったことも多かった。保護者、学校関係者の意見を聞き、改善すべきことは改善し、未来社会を見据えた教育の在り方についてさらに研究を深めていきたい。</li> </ul> <p>来年度は、3つの活動領域での教育課程になったの2年目となる。コロナ感染症が5類へ移行することに伴い、保護者が学校に来校する機会も増えてくる。実際に保護者に学校の様子を参観していただき、理解を深めていきたい。そして成果を実際の子どもの姿で見えていただき、課題については、改善を図っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童の個別の案件に関しては丁寧な対応を心がけ保護者との信頼関係の構築に努力した。</li> </ul>
研究活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校研究テーマ『「学びを自分でデザインする子」を育む教育課程の創造』について、今年度は実質3年目であった。先行実施していたLaboratoryに続き、Home、Classの3つの活動領域での新しい教育課程での生活が始まった。</li> <li>・ 先の見えない現代社会、「学びを自分でデザインする」力は、未来の社会で不可欠な能力であると考えられる。</li> <li>・ 保護者のアンケートを7月、12月、3月の年3回実施した。</li> </ul> <p>先行実施していたLaboratoryについては概ね高い評価を受けているととらえられる。</p> <p>今年度から実施されたClassについては、肯定的な回答は増えてはいるが、全体の半数程度の保護者が不安や課題を感じていると回答している。それらの声に謙虚に耳を傾け、改善を図ってきたい。</p> <p>Homeにも関しても肯定的な回答は徐々に増えてはいるが、全体の半数近くの保護者が課題や不安を感じていると回答している。高学年になるにつれその傾向が高くなっている。このことについてもそれらの声に謙虚に耳を傾け、改善を図ってきたい。</p> <p>子どもも保護者も、各活動領域で安心して生活できるよう、教員間の情報</p>

	<p>交換を密にしていくとともに、保護者が安心できるような体制づくりに努めていきたい。保護者アンケートからも研究に対する期待は大きい。「次世代教育のモデル校」として、最終年度の取り組みを充実させていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究発表会は、コロナ感染症拡大が心配されるため控えてきたが、今年度は、各Laboratory参加者を20名までとして対面で行うことができた。これまでの研究の一端を世に発表する機会を持つことができた。</li> <li>・ Laboratoryの活動では外部の人材活用なども積極的に取り入れ、活性化を図っていきたい。現在、同窓会の方との連携を図っている。</li> </ul>
<p>学生の教育・ 支援活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育実習では、新型コロナ禍であるにも関わらず、方法を工夫し、実施することができた。</li> <li>・ 大学院生のフィールド研究の場として支援活動を行った。</li> <li>・ 教員養成が教員養成基幹大学附属校の使命であり、未来の人材を育てる教員の資質向上に向けて、引き続き努めていきたい。</li> </ul>
<p>社会貢献活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PDS（現職教員向上研修学校）構想のもと、例年は世田谷地区の連携活動として現職教員研修会を実施していたが、今年度もコロナ禍で対面での実施はできなかったが、オンラインでの開催など方法を工夫し活動した。</li> <li>・ 世田谷区との協同はとても重要。新型コロナウイルスの感染状況にもよるができる活動を検討し、実施していきたい。</li> </ul>